

**バリアフリー整備に関する
利用者アンケートの実施について**

**令和4年度第1回
さいたま市バリアフリー専門部会**

昨年度までの振り返り

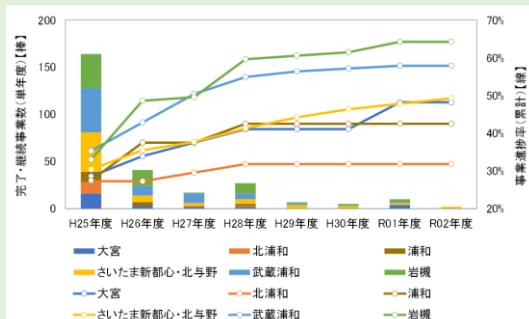
基本構想に基づくスパイラルアップによるバリアフリー化の取組みについて

事業者側からの評価

利用者側からの評価

これまで

事業進捗率により定量的に評価



専門部会での指摘
ユーザビリティの観点から**利用者目線**での評価が足りていない

「まちあるき勉強会」を通じた現地確認



※調査対象エリアは限定的

継続

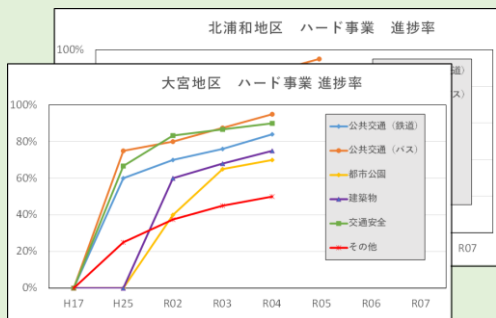
効果検証

地区全体を調査

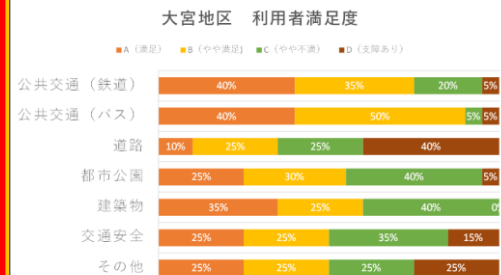
継続

これから

分析方法を改良しながら継続



アンケートによる満足度調査



「まちあるき勉強会」を継続

- ・アンケート調査の補完
- ・バリアフリー情報の収集

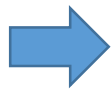
など

従来の事業進捗(成果)による評価とまちあるきに加え、アンケート調査の実施により利用者の**満足度(効果)**を把握し、更なるバリアフリー化を推進する

アンケートの実施目的・活用イメージ

①事業進捗率では把握できない、利用者目線での利便性向上に関する実感を調査する

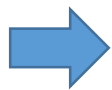
- ・基本構想で実施してきたバリアフリー化の取組みによって、まちの利用しやすさ、快適さは向上しているか
- ・事業者の取組みの「事業進捗率」＝利用者目線の「利便性向上」なのか
- ・効果の高い取組みはどのようなものか



- ・事業進捗率（成果）に対する、利便性の向上度（効果）を検証
- ・事業進捗では報告されないソフト施策による効果等の把握

②「まちあるき勉強会」で把握しきれない、地区全体に対する意見の収集

- ・どのような事業分野、取組みが評価され、望まれているのか
- ・満足度の高い取組（効果的な取組）・低い取組（課題のある取組）を把握し、事業者で共有



- ・利用者から評価されている点、課題がある点を整理
- ・各事業者へ水平展開し、今後の取組み（施設整備、ソフト対応）の参考としていただく

アンケートの実施展開

段階的に調査を繰り返し、実施方法を確立していく。

【調査方法】

- 実施範囲: 専門部会(モニター) **拡大**▶ 専門部会+その他市民(バリアフリー当事者を含む)
- 対象者数: 限定的(例えば、1団体5名程度、合計50名) **拡大**▶ (今後検討)
- 対象地区: 重点整備地区1地区でスタート、継続して順次実施
- 実施方法: 当事者へのアンケート調査とまち歩きを継続して実施



将来的な実施範囲の拡大

関係団体に加え調査対象者をその他市民(バリアフリー当事者を含む)にも拡大

- ・当事者へのアンケート調査以外に、その他市民に対して心のバリアフリーに関する意識調査を実施し、教育啓発特定事業の効果※を検証
- ・バリアフリー整備がその他市民の生活利便性向上にも寄与しているか

※: バリアを抱える当事者以外の市民の「心のバリアフリーの認知度」や「日頃から困っている方への声掛け、手助けの実践」など

今後の実施計画(案)

	R4	R5	R6	R7	R8
基本構想	特定事業計画の作成	事業実施	事業実施	目標年度(評価・見直し)	事業実施
実施範囲	専門部会(プレ調査)	専門部会	専門部会 + その他市民	専門部会 + その他市民	専門部会 + その他市民
対象者数	1団体5名程度(計50名)	※協力していただく関係団体と		調整しながら実施	
対象エリア	重点整備地区1地区	重点整備地区1～2地区	重点整備地区1～2地区	重点整備地区1～2地区	重点整備地区1～2地区
実施方法	アンケート	アンケート + まちあるき	アンケート + まちあるき	アンケート + まちあるき	アンケート + まちあるき

改良を加えながら実施方法を確立

継続実施

アンケートで把握したいこと(設問構成)

【利用実感の変化】

これまでの**概ね5年間**(旧基本構想でバリアフリー化に取り組んだ期間)の**変化**に対する利用者目線での 実感についてご意見を伺う

- ⇒一定期間で取り組んだバリアフリー化の取り組みで、利便性が向上した実感があるか
- ⇒改善点だけでなく、利便性の向上に効果がある取り組み(良い点)も把握したい

【満足度】

現時点におけるバリアフリー化の各特定事業に対して、当事者の満足度についてご意見を伺う

- ⇒地区の移動や施設利用時の満足度について事業ごとにご意見を伺う(満足、不満)

【調査の改善すべき点】

本アンケート調査について改善すべき点を伺う

- ⇒アンケート調査の実施方法や設問内容等の改善点を今後の調査に反映

今年度は、専門部会に参加する委員に協力いただき、関係団体に対してエリア、対象者を限定して、**試行的なアンケート調査(プレ調査)**として実施。



課題点を整理し、次回以降の実施で改善していく

今回の実施方法について

調査の進め方(案)

